



2019年8月9日

各 位

会 社 名 インパクトホールディングス株式会社  
代 表 者 代表取締役社長 福井 康夫  
(コード番号：6067 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 代表取締役副社長 寒河江 清人  
(TEL. 03-5464-8321)

2019年12月期 第2四半期決算についてのお知らせ

当社はインドでのコンビニエンスストア事業の展開に向けて2019年4月8日にCoffee Day Enterprise Limited (以下、「CDEL」社といいます)及びCoffee Day Global Limited (以下、「CDGL社」といいます)と締結した株主間契約に基づきCDEL社とCDGL社が設立したCoffee Day Consultancy Services Private Limited (以下、「CDCSPL」社といいます)社に投資し、CDCSPL社の49%分の株式を1,500万米ドル(日本円換算で1,675百万円 1米ドル111.67円で計算)で引き受けを行いました。それに伴い、コンビニエンスストア事業に必要な運転資金1,000万米ドル(日本円換算で1,116百万円 1米ドル111.67円で計算)をECBローンにてCDGL社に融資いたしました。

上記スキームの下、8月1日の第1号店のプレオープンに向け、開店準備を進めていたところ、7月29日にCDEL社の創業者会長であるシッダールタ氏が行方不明となり、7月31日にNetravati川でシッダールタ氏のご遺体が発見された旨の報告がございました。死因に関しては、明確ではありませんが、現地メディアによればシッダールタ氏が個人的に巨額の負債を負っており、債権者からのプレッシャーによる影響で自殺した可能性が高いとのことでした。

そのような状況下、弊社にて第2四半期決算を行なうにあたり、資産に計上しているCDGL社への貸付金について回収可能性を評価するため、CDGL社の財務状況を確認すべく、CDGL社に対して直近期の決算関係資料の開示を求めたところ、シッダールタ氏の自殺に起因してアーストアンドヤングが企業資産の実在性を調査する事態が生じたため、調査が終了するまでは財務情報について一切開示できないとの回答があり、開示を拒否されました。

その後、CDGL社とは何度も交渉を重ね、決算の開示を求めましたが残念ながら応じてもらうことはできなかったため、当社会計監査人である東陽監査法人より現時点においては、第2四半期決算における四半期レビューについての結論の表明ができないとの報告を受けております。

当社は、CDGL社及びCDCSPL社の6月30日付の銀行残高証明を入手しており、6月末時点では上述の投資と貸付金に相当する2,500万ドルの銀行預金残高が存在していたことを確認しており、本日開示した2019年12月期第2四半期決算の数値は、当社からの投資及び貸付金の回収可能性に疑義がないことを前提として作成しておりますが、今後、決算資料等が開示され手続きを実施した結果、回収可能性に疑義が生じ評価損の計上が必要になる可能性があることをお知らせいたします。

以 上